

### RETENTION PLUS

Retention Plus (リテンション・プラス) は、四つのR (リテンション、リクレーション、リバイバルとリフォーメーション) に関する記事やニュースを通して支部内の各教会のために、リテンション・プロジェクト・コーディネーターや牧師たちを力づけることを目指しています。間近なイエスの再臨に対して教会員を備えをさせ、具体的な行動へかき立てるよう、読者を目覚めさせ励ますことを願っています。

### Retention & Reclamation Committee Members

#### Chairman

Jairyong Lee

#### Secretary

Fukui Teru

#### Members

Barbara Choi  
David Ripley  
Lynn Ripley  
Kwon JohngHaeng  
Joo MinHo  
Han SukHee  
Kim SiYoung

#### Main Editor

Fukui Teru

#### Assistants

Oh MyoungSook  
Kim MinKyung



### Northern Asia-Pacific Division of General Conference

P. O. Box 43. Goyang Ilsan,  
410-600, Republic of Korea  
Tel: 82-31-910-1500  
Fax: 82-31-919-4412  
Email: tfkui@nsdadventist.org

## 教えと実地訓練による弟子作り (1/3)

はじめに

新しい信徒が忠実な信徒となるように育て定着させるためには、教会は大宣教命令 (Great Commission) に立ち戻る必要がある (マタイ 28:18-20)。大宣教命令の中核は、弟子作りである。ここでは、弟子というのは単に毎週教会に来る人のことではなく、毎日の歩みでイエスを真似する人を表している。「イエスの弟子は、天の御国の生活について成長していく理解を、この世の自らの生活のあらゆる側面に当てはめる…人たちである。」つまり、弟子とは成熟し人を導くクリスチャンのことである。弟子作りのためには、バプテスマの後に必ず教育が続かねばならない。それが、大宣教命令を果たす道である。もし、弟子作りで教育が見落とされるなら、大宣教命令は大浅教迷令 (Great Omission) となってしまう。率直に言って、教育が欠落すると、どんなに救霊の努力や苦勞をしようと、新しい信徒たちを全面的に失う結果となる。

### 弟子訓練としての教育

今日の教会は、弟子作りよりバプテスマの方に關心を持っている。大宣教命令を果たすためには、弟子作りという世界伝道のためのイエスの課題に戻らねばならない。しかし、弟子作りは教育が欠かせない。弟子作りには、教会の指導者としての牧師が、聖書に従った自分たちの大きな役割と働きを知らねばならない。

### 牧師の役割—教えること

パウロは、牧師の役割をエフェソ 4:11で、教えることと関連付けている。牧師の効果的な働きは、実際は教える働きです。多くの牧師が、自らの教師としての役割は、教会員が弟子となるために教え訓練することだと同意しているが、その牧師のほぼ4分の3に、信徒を教え訓練する実際の計画がなかった。エレン・ホワイトも次のように言っている。「私たちの教会員に与えることのできる最大の助けは、牧師に頼らず神に頼って、神のために働くことを教えることである。」彼女は、牧師の働きにおける教えることの重要性を強調している。「キリストは牧師たちが福音の働きにおいて教会の教育者にしようと思っておられる。彼らは失われた者をいかに探し救うかを信徒に教えるべきである。しかし、これは彼らのしている働きでしょうか。」

羊飼いの長として、イエスは教えることを、ご自分の大きな働きの一つとなさった (マタイ 4:23)、そして昇天なさる前に、ご自分の弟子たちにも教えるようにと命ぜられた (マタイ 28

:19, 20)。パウロは、イエスの方法に従って弟子作りをし、教えることを弟子作りの重要な部分として強調した。「多くの信頼できる証人たちが確認した事柄を私が教えるのを、あなたは聞いてきました。いま、他の人に伝えることのできる信頼できる他の人たちにこれらの真理を教えなさい。」 (2テモテ 2:2, New Living Translation)

### バプテスマ後の教育

教えることは、弟子作りの聖書的方法である。聖書はバプテスマのためにどの程度準備をすべきか語っていないが、受浸の後に教えることが続くべきことを述べている。(マタイ 28:19, 20) イスラエル人が紅海を渡って、エジプトの奴隷から解放された後、神はシナイ山の麓に彼ら呼び出し、十戒と神の契約の民としていかに生きるべきかを教えられた。使徒パウロは、紅海を渡ったイスラエルの経験がバプテスマの象徴として解釈している。つまりバプテスマの後、神の戒めを教えたのだ。紅海の後にはシナイ山が続いたのだ。ペンテコステの日、約三千人がバプテスマを受けた。受浸後、新しい信徒たちは使徒の教えに自らを捧げた (使徒 2:42)。即ち、受浸後12使徒により弟子となることを教えられた。エレン・ホワイトは言っている、「一つの場所で一連の講演を行い、最初の努力がなされた後に、最初のものを行ったよりも大きな必要が、二番目の講演を行うために出てくる。真理は新しく驚くべきことなので、人々は要点を明確にし、考えを良く理解するために同じことを二度提示される必要がある。」改心した後、新しい信徒は神のみ言葉に固く立つために、直ぐに教えを受けるべきである。普通、ほとんどの牧師は受浸の後の教育は無視してきた。牧師は救霊し、バプテスマを受けるためには大変な苦勞をするが、霊的な赤児を教え訓練するためには興味がない。教育がないため多くの信徒は教会を去り、信仰を捨ててきた。牧師は、イエスの教えるための指示 (マタイ 28:19) に注意を払わねばならない。新しい信徒を定着させ、あるいは教会の後ろの扉を閉じる最初の一步は、教えることである。



NSD、支部総理補佐、  
リーダーシップ開発、  
ジャー・ミンホー博士

# 主のご計画 あなたの教会はその使命をど



セブンスデー・アドベンチストとして、私たちは主の再臨が近いこと、周囲の世界にこのメッセージを伝えるために神の召しに答えなければならないことを強く信じています。このことは、すべての教会がMission First! (使命を第一に) にする必要のあることを意味します。

これはまた、それぞれ地方にある教会のMission (使命) は少し異なることを意味します。私たちの地域に福音を、という目標は同じですが、すべての地域や時間、場所には独自性があるため、それぞれの教会はその使命が何であるか、どのように福音をその地域に伝えるのかを発見しなければなりません。

長年の間、私は牧師として幾つかの教会で働いてきました。新しい牧師として赴任すると、しばしばその教会のリーダーたちから質問を受けました。「先生は、私たちの教会にどんなビジョンを持っていますか。」皆さんを驚かせるかもしれませんが、私の答えは「分かりません」です。「皆さんは、教会への私のビジョンが欲しい訳ではないでしょう。第一長老のビジョン、執事やどんな他の信徒のビジョンが欲しいわけでもなくて、私たちは神様の教会へのビジョンが欲しいと思います。」

教会の牧師として、あるいはリーダーとして、教会のビジョンはどうあるべきかを考えていると思いますが、それは間違っているかもしれません。神様が、私たちの教会にどうなって欲しいと願っておられるかを発見することが大事だと思います。これこそ、神が祝福し可能にしてくださるものです。

ビジョンとは、神が特定の教会や機関に望んでおられる、神がお与えになる将来の姿を示すもので、神の愛を伝え、その御心を完成し、神が私たちの教会になって欲しいという姿になって行く、道程として用いられるものです。

すべての教会は、神がその教会に将来どうなって欲しいと望んでおいでになるかを発見して行きながら進むべきです。すべての教会は、神が自分たちに表してくださった将来の姿と信じるものを表す、使命とビジョン (Mission and Vision) 宣言を書くべきです。使命とビジョンとは、自分の教会の今ある姿を見ているのではなく、これからのための神の計画に従う時、どうあるべきかを表します。

もし神がご自分のしたいようになさったら、あなたには失敗はありえないはずですし、不足するものはないはずです。これから5年後、あなたの教会は、どのように見え、感じ、なっていることでしょう。

使命とビジョンと申し上げていることを、定義してみましょう。

使命 (Mission) :

使命とは、あなたの教会に神がなって欲しいと望まれる、「大きな絵」です。それは、あなた教会の影響の範囲、あなたの教会が存在する理由、あなたの教会に対する神の計画に従う全般的な方法を表します。大きな基本計画、あるいは主のご計画です。

これは、一つの使命宣言の例です。

ビッグタウン・セブンスデーアドベンチスト教会は、私たちの存する社会の一番の良い霊的な影響力となることによって、私たちの街にイエスを伝えるために存在します。

ビジョン (Vision) :

ビジョンとは、私たちの教会に対する主のご計画を如何に実行するかを表す、もっと細かな姿です。それは測定可能なもので、神があなたの教会に求めておられることを実行していることが、分かるようにしなければなりません。

これは、ビジョン宣言の一つの例です。

これ (使命宣言: 訳注) を実行するため、ビッグタウン・セブンスデーアドベンチスト教会は:

1. 安息日学校分校を五つ、街の周囲に建てます。
2. 町中で、包括的健康奉仕活動をします。
3. 四百名が入る礼拝センターを造ります。
4. 80%の定着率を達成します。
5. 毎年、四つの大きな地域活動を開催します。
6. 毎年、一回の伝道集会を開催します。
7. 教会小学校を建てる準備をします。

神の使命とビジョンを持つ理由は非常に重要です。それは教会が神の望まれるようにいかに育っているか、明確な様子を表しているからです。明確な将来像を持っていなかったら、自分たちがどの方向に前進しているのかどうやって分かるのでしょうか。使命とビジョンは、使命第一 (Mission First!) を

行うために、私たちに極めて重要です。これが無ければ、あなたの教会は間違いなく、どんな姿になるのか考えもなく、盲目の将来へ進むこととなります。使命とビジョンは、向かうべき目標を、教会に与えます。なにも目指していなければ、当たるも無いでしょう。神があなたの教会になって欲しい姿を目標にすべきです。

教会が、使命とビジョン宣言（ステートメント）を持ったら、後は計画を立て、神が彼らに願われた姿を成就するための時間軸の予定表を立てるために前進します。計画を前進するためのプログラムを作り、中休みの時に前進しているかを評価します。

神の使命とビジョンはたびたび、一つの教会が自分の力で成し遂げるには、大きすぎるように見えます。しかし真実を言うなら、神の使命とビジョンは神が望まれるように大きく大胆なのです。正しく言うなら、

神使命とビジョンは私たちの力や能力ではなく、全知全能である方の力と能力、つまり神（！）に依存しているのです。神様に私たちの計画に入っていていただくのではなく、神の計画に私たちが参加するのです。

エレン・ホワイトは私たちに言い聞かせています。「人の意志が、神の意志と協力するとき、全能となる。主のご命令によってなさねばならないことは何であっても、主の力によって達成される。すべて主の命令は、可能なものとなる。」（キリストの実物教訓、p. 333）

デイビッド・リプリー  
牧師会会長  
北アジア太平洋支部



## DISCUSSION

### 教会でのグループディスカッションのための質問：

1. あなたの教会には、使命とビジョン宣言はありますか。その使命とビジョンの宣言は、神があなたの教会の信徒たちの将来に対する神の願いを表していますか。
2. 使命宣言（ミッション・ステートメント）があなたの教会を導く、力強い文書になるには、何が必要かを話し合ってください。
3. しばしば、ある教会員たちは、かなりの変化をもたらすような教会の大きな使命を恐れます。教会が一致して、神の御心に従うためにどうしたら良いか、話し合ってください。

# リテンションー私たちの教会家族である信徒たち

昨年11月以来、韓国のサムスン・ソウル病院で11月5日に亡くなった家内を失って、大きな痛みを感じています。多くの皆さんが、たくさんの言葉や、慰めのカードを下さって、大変感謝しています。本当に、皆様すべてに私の深い感謝を表すことができましたらと願っています。どんなに皆さんが、私を助け支えてくださったかを知っておられるのは、神様だけです。けれども、家内が亡くなったことで、私の神経は情緒的に麻痺しているようです。きっと、その理由の一つは私が現実を受け入れたくないからでしょう。あるいは、痛々しい現実を拒否しようという本能かもしれません。彼女が、どこかでまだ生きていて、どこか隣の部屋からでもドアを開けて出てきて、「こんにちは、どうしたの」と言ってくれるような気がするのです。でも、過去6ヶ月の間、そういうことは起こりませんでした。最初の3ヶ月は、いなくなったことを堪えるのが苦しくて過ごしました。その後は、もし出てきたくないのならそれでも良いよ、あなたの好きにすれば良いという感じでした。そして今は、出てきて合うことができないのを認めざるを得ないな、という感じなのです。皆さんには、きっとおかしな話だろうと思います。家内に会いたいのです。この四月の最初の週は、キリストの受難週でした。その忍耐、その痛み、その御苦しみは、私たちのために苦しめられました。十字架で亡くなりました。主よ、感謝します。あなたを信ずるものは誰でも永遠の命を得る、という約束を感謝します。主よ、感謝します。三日目によみがえられ、死はもはや主や、主に従うすべての人に対しても力はな

いことを明らかにしてくださいました。

私が、家内のために感じた大きな一つの痛みは、彼女と一緒にいて物事を分かち合うことが、もうできないということでした。歩くとき、一緒に歩く人がいないのです。綺麗な色の木の葉を見ると、本能的にその瞬間の喜びを伝えようとするんですが、家内がいないのです。美味しいリンゴを見つけると、家内の注意を引こうとするのですが、そばに誰もいないのです。でも、素晴らしい私たちの救い主が家内を見てくださり、主がおいでになる復活の日には、目覚めさせてくださることを信じて、私は幸いです。家内は失われず、リテインされたのでしょうか。勿論、主の愛の休みのうちに留められました。これが、私の慰めの理由です。

その時、なぜ罪人が「死んでいる」と聖書の中で表現されているかわかりました。罪人は、主の痛みも、喜びも、その御心も、神と分かち合うことができないのです。人間は、罪のゆえに神様のように、物事を感じません。そのため、放蕩息子が父の家に戻ってきた時、「死んでいたのに生き返り」(ルカ15:24)と父親は言いました。アブラハムが「神の友」(ヤコブ2:23)と呼ばれたのは、真の父が十字架で独り子なる子の故に感じられた痛みと苦しみを、彼が分かち合ったからでした。

さて、私たちは教会家族の失われたものたちのために、どんな痛みを感じているのでしょうか。教会家族の誰も失いたくないですよね。皆さんは、失われた教会員のために、神が感じるのと同じような痛みを感じますか。ある教会員は、永く教会か

ら離れ、残しているのは教会員名簿の名前だけです。私たちは、主と生きていますか。その信徒のために主のように痛んでいるのでしょうか。

もし、教会家族の一人が家で痛みがあり、教会に来ることができなかったとしたら、どのようにしてあなたと教会で、その問題を分かち合うことができるのでしょうか。もし、彼らが教会で失われたら、誰が行って彼らを真の羊飼いの檻へ、呼び戻すのでしょうか。この地上の教会家族は天にまで続き、その教会員はイエスの血潮故に、地上の家族よりも強くつながっています。どうして、大きな痛みも苦しみを感ぜずして、教会の中で大切な魂を失うことができるのでしょうか。

皆さんの教会員の一人ひとは、教会の中で大切にされ、クリスチャンの訓練や愛のうちに十分に養われているのでしょうか。私たちの教会員は、クリスチャンの愛のうちにとどまり(リテインされ)、兄弟愛で繋がっていると感じているのでしょうか。このようなレベルのケアを、皆さんは活動的な訓練された小グループ無しで、教会で提供できますか。どうか、私たちの教会をキリストの血で温かい教会にいたしましょう。



福井 輝

支部リテンション・コーディネーター

## 編集後記：

支部総理の提案のおかげで、リテンションとリクレーション・サミットを開催できたことを感謝します。3月2～5日、日本の長崎でこの重要な問題にかんする支部のサミットを開催しました。四人の、牧師や信徒の方がその働きを紹介して下さるために参加して下さり、ある牧師たちや信徒がリテンションの問題について、素晴らしい働きしていることを知って、参加者はみな大変感動し、彼らの報告に耳を傾けました。私たちは、変化し成長することができるのだと知ることができるのはとても有難いことです。サミットの資料バインダーに収めた優れた資料や、元気付ける報告書を読んでください。

ご存知のように、私たちの時間は短く、とても限られています。言い訳はできません。この限られた時間の中で、主への愛と、そのお身体である教会員への愛を示さねばなりません。私たちの緊急の課題は、すべての牧師たちである皆さんに、新しい見方をもって教会員の、その必要、ケア、訓練を見ていただきたくことです。なぜなら、教会員皆が、「聖徒たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ(教え：英文新欽定訳“edifying”)、わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達して、「キリストの満ちみちた徳の高さにまで」成長することを必要としているのですから(エペソ4:12、13)。